

八 露れ出でたか心の地金

いくら隠し匿しても、情ないことには、三の場合、人は屹度その地金を顯はすと、哲學者ベーコンは云つて居る。それは獨居の時と、激怒の折と、未經験の際とだと。如何にも、獨居の時は飾ると云ふことがない。激怒の折は平生の謹を忘れる。未經験の際は前例がないから腹の底の有合物を出すと云つた有様。地金とは何か、貪欲・瞋恚・愚痴である。吾人、果して怒りしことはなきか、恨みしことはなきか、欺きしことはなきか、偽りしことはなきか、誇りしことはなきか、疑ひしことはなきか、貪りしことはなきか、自暴自棄せしことはなきか。須らく内觀自省、日夜、行ふ所、言ふ所、思ふ所を精査せよ。「年月はかへらぬものを我ながら、驚かぬ身ぞ驚かれぬる」驚かぬ身と驚く所に覺醒がある。耻かしき身と耻づる所に、自己の眞相に逢着するのではないか。

大和國の或山里に、態々母のため草堂を造つて、念持佛を安置し、法事供養を營むべく、南都西大寺の思圓房の上人といふを請待した者がありました。思圓房上人は形の如く町重に讀經して、終に回向文を讀み上げる。「願はくはこの功德を以て、普く一切に及ぼし、我等と衆生と、皆共に佛道を成ぜん」。「何ツく、お上人様、あれは何と申すお経で」。「あれか、あれは回向文と云つて、今迄讀み上げたお経の功德を、法界衆生に悉く頒ち與へると申すことぢや」。「へい、法界衆生に……私は折角母のためと思つて、斯うまでにして供養しますのを、悉く法界衆生に回向するなんて、そんな事をなされては、母の頒分は、萱一筋にも當りますまい。それではならぬ。回向文讀みかへて、唯母のためにとばかり、遊ばされ候へ」と、親爺仲々ひどい意氣込。「まアくさう云ひなさんな。功德は回向すれば、愈大きくなつて失せ

る事はない。佛様を供養すれば、一切衆生に同様に頌ち與へて下さる。みんなが有丈の功德にあづかるのぢや」と細やかに教へられて、「さてはめでたい事にて候なり。但し隣に候、三郎檢校と申す者ばかりは除かせ給ひ候へ、あれは母親一生涯の敵でございしましたから」と云ふ。それで回向文は讀みかへて、願はくは此の功德を以て、普く一切に及ぼす、但し隣の三郎檢校は除く。とかうやつてほしいと云ふのでありました。恚う云ふ場合でも、尙且つ人は自我を發展させたがるものでせうか、飽迄我他彼此の考を起す、驚くべきは此處であります。

千五百年も前、初代の耶蘇教には、こんな物語があつたと云ふ。或る信者の母が死んで地獄に落ち、熱鐵の湯玉に苦まねばならぬことになつたさうです。此の事を知つた孝心深い信者は、胸も張り裂けるばかり、身も世もあられず、どうかまして其の苦から、母親を救ひたいものと、閻魔様の許に參つて、せめてもの願に、裁判のお仕直を申出しました。通常ならば、叱り飛ばされて罪にもならう處を、平生殊勝な信心に免じて、閻魔様は特別を以て裁判の仕直をなされた。ところが案の如く、そこにたつた一つの見落がありました。この婆さんといふのは、吝の上にも吝で、吝嗇家の親方でありました。只の一度、お菜の仕度をして居る時、泥に汚れた葱の切端を、門先の乞食に恵んでやつたさうです。「これは俺が見落であつた」と、閻魔様は早速天使を娑婆に使はして、泥によこれた葱の切端を捜して持歸らせ、それを天使に持たせて、地獄の釜の上に臨ませた。すると、込み上げるやうに煮へ返る熱湯の中には、何千人何百人の人々が、上になり下になり、茹蛸そつくりで悶へ苦しんで居る。信者の母は、不圖仰いでその葱を見付出し、今の苦しさにつけて娑婆こひしさのあまり、手を差上げて、その葱を掴んだのであります。

と見た天使は、その葱を引き上げ、こゝぞと自分も高く登つて行けば、婆さんの身體も、だんく空中に上り、熱湯の苦から出て、涼しい世界に入ることが出来た。之を眺めた釜の中の幾千人の人々は、この苦から助かりたいばかりに、一人がこの婆さんの足を捕ふれば、その次の者が其の足をと云ふ風に、澤山な人々が、足から手、足から手と繋がつて、全然人間の鎖みたいにして、煮え立つ釜の中から外へ出ることが出来た。處が婆さん熟々考へた。「私は娑婆であの葱を乞食に與へたればこそ、今助けられるのである。私の助かるのは當前だが、私の葱で皆んなの人々が助かるとは、あんまり虫が好すぎる。一つ振り落してやらう」と、足をひどく振つた拍子に、葱持つ手はづれて、ざらぐざつと瀧つ瀨をなして、皆んなの者が眞逆様に、またもとの煮え立つ釜の中へ落込んだと云ふ物語であります。

一人の善根は能く萬人を救ふことが出来ると共に、一人の悪はまた能く萬人を苦しめるのである。吾のみと思ふ獨覺心、人の難儀は百年でも堪へ忍ぶと云ふ心は、深く謹まねばならぬ。この酷似した東西兩洋の二つの話の上に、淺ましい自己といふものが、昭々白々しくも頭をもたげて居るではないか。覺醒するのは此處である。自覺の根柢はこの一刹那にあることを思はねばならませぬ。